



生涯学習サポーター養成コース



生涯学習サポーター養成コースは、これから地域のいろいろな分野でボランティアとして活動していただく方を養成するためのコースで、毎回テーマを決めて募集しています。このコースを修了すると生涯学習サポーターとして中央区に登録し、ボランティアとして活動していただくこととなります。これまでに、文化財サポーター、郷土資料館サポーター、生涯学習コーディネーター、区民メディアリポーター、よみきかせボランティア、地域活動コーディネーターが卒業し、まち案内や講座の企画、区民情報番組の制作など活動の場を広げています。

生涯学習サポーター養成コース

コース生の募集は終了しています

定員20名

◆郷土資料館サポーター養成講座

主 題 中央区立郷土資料館の来館者に向けて、常設展示及び企画展示の案内をする「郷土資料館サポーター」を養成します。

講座の前期は、郷土資料館サポーターに求められる役割や心がまえ、中央区の歴史や展示の概要を学びます。後期は、前期で学んだことを中心に実習形式で展示案内を行っていただきます。

講座修了後は、中央区生涯学習サポーターに登録し、既に活躍している現役サポーターとともに活動していただきます。

※講座の内容等は変更する場合がございます。

時 間：午後2時～4時

場 所：本の森ちゅうおう

回 数：12回（実習あり）

受講料：2,400円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	6/10 (水)	オリエンテーション	陣内 秀信／担当学芸員
第2回	7/ 1 (水)	中央区の歴史	増山 一成
第3回	7/15 (水)	郷土資料館の常設展示について	担当学芸員
第4回	7/30 (木)	郷土資料館の企画展示について	担当学芸員
第5回	8/12 (水)	郷土資料館の常設展示展示物の詳細について	担当学芸員
第6回	8/26 (水)	郷土資料館サポーターのおもてなしについて 前期のまとめ 後期の実習について	鈴木 章生／担当学芸員
展示案内実習に向けての準備			
第7回	9/10 (木)	実習と講評 常設展の展示案内実習	増山 一成／担当学芸員
第8回	9/24 (木)		
第9回	10/ 8 (木)		
第10回	10/22 (木)		
第11回	11/12 (木)		
第12回	11/26 (木)	今後の活動について	担当学芸員

講 師 紹 介

陣内 秀信 (じんない ひでのぶ)

中央区立郷土資料館館長、法政大学名誉教授。東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。ヴェネツィア建築大学に留学。専門はイタリア建築史・都市史。地中海学会会長、都市史学会会長などを歴任。著書に『東京の空間人類学』（筑摩書房）、『水の東京』（編著、岩波書店）など。

増山 一成 (ましやま かずしげ)

中央区教育委員会事務局副参事。長年にわたって中央区内の文化財指定や登録等に関する調査研究に携わり、区立郷土資料館（旧郷土天文館）では学芸専門職として展示構想から基本計画、特別展の実施、歴史講演などを含むアウトリーチ活動にも従事。中央区の歴史を解説した著書等に『みる・よむ・あるく東京の歴史』第5巻（共著、吉川弘文館）や区広報紙への連載記事（「区内の文化財」）など。

鈴木 章生 (すずき しょうせい)

目白大学教授、品川区立品川歴史館館長。専門は日本近世史、日本民俗学、博物館学。祭礼、社寺参詣、名所巡りなど、都市の祝祭空間における文化的事象と人々の行動の解明に、歴史学・民俗学の立場から取り組んでいる。さらに、博物館と地域社会における市民ボランティアの役割と運営に関する研究を行っている。著書に『江戸の名所と都市文化』（吉川弘文館）、共著に『絵図に見る伊勢参り』（河出書房新書）など。